

琉球新報

The Ryukyu Shimpō

速報

2024年(令和6年)
12月7日(土)

発行所 琉球新報社
〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3
©琉球新報社2024年

美ら島の文化 未来へ

舞台の幕開けで「安波節」を披露する本島4地区の中学生117日、浦添市のアイム・ユニバースでだこホール(富山美桜撮影)



舞台、展示華やかに

第30回沖縄県中学校総合文化祭 1日目

「つなぎ続けて30年 継がれたウムイと新たな風を 美ら島に」をテーマに第30回県中学校総合文化祭が7日、2日間の日程で浦添市のアイム・ユニバースでだこホールで開幕した。県内の中学生が郷土芸能や吹奏楽、作品展示、茶道などで日頃の活動の成果を発表した。

午前の部は、本島4地区の生徒たちによる歌三線合奏「安波節」で開幕した。本部町立本部中学校と名護市立羽地中学校による「かぎやでい風」や、浦添市立浦添中学校と港川中学校による「四つ竹」なども披露された。

浦添市立港川中3年の小渡珠莉さんは「琉舞を習って七年。同じ道場のみんなまで四つ竹を踊るので踊りをそろえることを意識したい」と抱負を話した。YFP部門に出演する真和志中2年でダンス部部長の屋嘉比麻愛さんは「毎日練習をし、メンタル面も技術面も鍛えてきた。緊張もしているけど、真和志中は絶対勝ちます!」と意気込んだ。茶道部門に参加した石嶺中3年の上間美璃さんは「人前で茶道を披露し、緊張しているが、良い経験になった。茶道は手の向きなど細かい動作もあり気を付ける点がたくさんあるが、静かで心が落ち着く」と笑顔で語った。

娘の展示を見に来た上原幸太さん(43)は「糸満市は「設計士なので、展示物を見るといろいろな考えがあつて面白い。子どもの発想を見ると触発される」と感想を語った。

※この速報は、読谷中の生徒が取材・撮影し、琉球新報社がサポートして発行しました。

琉球新報
小中学生新聞



生徒たちの記事・写真は15日付
りゅうPON!に掲載します!

購読のお申し込みは フリーダイヤル 0120-395069 ▶お試して1週間購読できます





多彩に 文化発信



私たちが作りました！

県中文祭では、教育に新聞を活用するNIEの展示もあります。速報を発行したのは、(前列左から) 喜友名里咲さん、新城日菜さん、大城蘭さん、松田葵咲さん、(後列左から) 玉城絆愛さん、當山美桜さん、ジャクソンレイン幸榎さん、又吉彪斗さんです。

📖 購読のお申し込みは フリーダイヤル 0120-395069

▶ お試しで1週間購読できます

